

## 水道施設の運営・管理の促進と 定着へ「水道O&M研究会」発足

先般、水処理プラントメーカー系の維持管理会社二十社を統合、水道施設の運営と管理の促進、定着を目的とする「水道O&M研究会」が発足した。

同会の内容は、水道施設の設計、施工に多くの実績を持ち、親会社が上場企業、または水道施設の設計施工に多くの実績を持ち、水道界で認知されている各社を会員対象としており、代表幹事に月島テクノメンテサービス代表取締役副社長の大石直行、副代表幹事にジェイチーム社長の山田昌司両氏を選出した。ここ迄はよくある〇〇会の発

足内容だが、今回の発起人代表とでもいふべき、大石、山田両氏の名前が出たとき、この道のベテランならずとも、かつての水処理業界の両エースで第五世代を代表し業界を切り回わし、その名を売った、業界の超ベテランであることはよく知られている。

大石直行氏は月島機械で、山田昌司氏は荏原インフィルコー荏原製作所にあつて、一時代を創った業界人である。

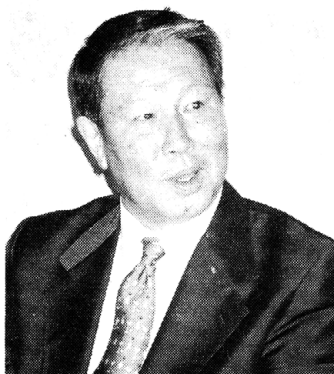
奇しくもいふべきか、偶然というべきか、このご両人、ともに昭和16年生まれ、大石氏の早大、山田氏関西学院大だが両

者法学部出身。プラントメーカーの営業幹部として、ともに全国版でその名を売ってきた実経歴を持っている。

PFI問題で揺れる水処理業界である。民間委託への下準備、環境づくりの一環としての「水道O&M研究会」大石、山田両プロデューサー再度その手腕の見せ場が来た。大石氏B型、山田氏O型。血液型チームのカリスマ、能見正比古氏（昭和24年東大工学部卒）の「血液型人間学」（サンケイ出版）によると、「O型とB型の組み合わせは社内での上下関係、夫婦間でも最良の組み合わせで、O型がB型に対するおもりの意欲が非常に強く出る」という。



【水道O&M研究会・代表幹事】  
大石 直行氏



【副代表幹事】  
山田 昌司氏